

広報

なんこく

5/1 1973 No.148

編集・発行／南国市広報委員会



今月の顔……はじめての保育所、おとなりの飲み物が気になっちゃうな



予算の解説

48年度の行政のあり方を示す市の予算は、去る3月定例議会（3月12日から23日まで）で、一般会計36億2,220万円（47年度より9億2,451万円増）、水道事業会計2億5,098万円（6,069万円増）、国民健康保険特別会計5億722万円（8,520万円増）、特殊道路等整備事業特別会計3,309万円（1,887万円増）、合計44億1,349万円（47年度当初予算合計33億2,422万円に比べて10億8,927万円増）、と決められました。

ことしは、昨年の集中豪雨による大きな被害を受けさらにきびしい財政状況にありながらも、行政水準をさげないよう重点目標を災害復旧と防災対策、道路の整備、教育施設、生活環境の整備においた積極的な予算となっております。

おもなものは、災害復旧事業費1億2,688万円（前年の約11.5倍）。かけずれ防災対策3,670万円。道路整備事業に3億1,000万円。霧ヶ池中学校新築、北陵中ホールなどの小中学校施設に1億8,087万円。大篠公民館新築、集会所などの社会教育施設に5,225万円。地方改善事業に5億6,228万円。児童保育所新築、児童公園整備などに5,549万円。老人、ゼロ歳児医療などの福祉事業に1億2,340万円。ゴミ処理などのために5,700万円。水道事業では新設拡張整備事業として1億9,208万円。新庁舎建築費の支払に8,734万円などです。

農林業振興については、農林業振興地域の指定と整備計画をたて、農林業振興関係費として3,496万円。南国市農協と協力して農村施設等総合整備事業8億3,000万円を実施する計画です。

また、新しく設立された南国市土地開発公社の事業費として18億円が認められました。

一般会計

36億2,220万円

前年度にくらべて9億2,451万円、約34.3%と大幅にふえています。

歳出のうち義務的な経費といわれる人件費、生活扶助費、公債費（借入金の支払）が大きく、あわせて15億5,662万円と一般会計の予算のうち約42.98%を占めています。また、ことしは、人件費や物件費などの経費を極力節減し、行政水準をおとさないという姿勢で災害復旧そのほかの建設事業を重点的にとりあげたため15億6,309万円、総予算額に対して43.15%と昨年の建設事業費37%からみると大きく伸びています。

しかし、年ごとに義務的経費や福祉対策費はいちじるしく伸びるのにくらべて、市税や交付税などの一般財源は伸びが少なく、その上に台風10号以来のたび重なる災害で大きな打撃を受け、46年度末での赤字も800万円あまりと赤字解消も着々と進んでいるものの、一方市債（借入金）13億7千万円、債務負担行為（公共事業のために他の団体が借入れしたものの債務を市が保障したり負担するものなど）が14億円あまりあり、まだま

だ苦しい内容です。

歳入

ことしの歳入面での大きなものは、国庫の支出金10億1,059万円（47.4%増）地方交付税8億1,800万円（16.5%増）市債5億4,820万円（4.7%増）市税5億6,477万円（19.2%増）などです。

市税などの自主財源（市のみの収入）は11億9,960万円、33.13%と昨年25.6%にくらべると伸びてはいますが市税の伸びが19.2%と低く不定定な伸び方だといえます。

国、県の補助金、地方交付税、市債などの依存財源は24億2,259万円、66.87%と予算の大部分を占めています。しかし、国はもともとつと金を出すべきだという声が強いです。

歳出

市民サービスに使う経費をみますと、人件費、扶助費などの消費的な経費が49,94%、建設事業などの投資的な経費は50,06%となっています。

また、民生費（社会福祉、生活保護、保育所、母子社などに使うもの）15億8,509万円、43.7%。環境衛生などに使う衛生費も昨年にくらべて78%と大きく伸び、あわせて全体の約半分位となっています。苦しい財政の中から、特に災害復旧や道路建設整備、福祉増進のために力を入れていることがわかります。

水道会計

2億5,098万円

水道事業会計は、47年度から地方公営企業法の適用を受け、水道局として機構を整備し、独立採算性をとり経済性を考えた合理的な事業運営を行っています。計画通り順調に運営されています。

ことしは、都市計画に伴うものまた、地下水のよごれがさらにひ

どくなってきていることなど、市民の健康を守るため公害、環境衛生の面からも積極的に取り組む姿勢で、給水戸数を4,500戸（前年度より9%増）市の総世帯数の39%まで給水します。予算額2億5,098万円のうち、1億9,208万円を建設改良事業を行ないます。主な事業は大篠地区の拡張と断水事故を防ぐための工事に……1,000万円。岡豊地区の新設工事に……5,964万円。南部広域新設工事（十市、浜改田、前浜、下島浜、久枝の海岸地帯）に5,925万円。長岡地区拡張工事に……1,133万円。野中地区整備事業に……3,386万円。前浜地区給水工事に……1,500万円。久礼田地区の改良工事に……300万円

歳入は、企業債1億400万円。国の補助金3,084万円。県の補助金4,217万円。一般会計からの繰入金1,174万円。負担金692万円などです。

国保会計

5億722万円

国保事業は、現在加入者16,800人人口の約40%の市民の病気、出産、死亡などの医療給付、また、黒滝、中の川地区の巡回診療車による直接診療事業を行っており、被保険者、医師の協力を得て健全な運営が行なわれています。しかし48年度は、さらに70歳～74歳の老人とゼロ歳児の医療費を無料にすること、全体の医療費の大幅な上昇などが予想され47年度の子算額より8,496万円（約20%）の増加となり、保険税についても全体で4%あがることになりました。歳出のおもなものは療養給付のため……4億5,597万円。療養費として……2,700万円。出産したときの費用のために……180万円。死亡したときの費用のために……120万円。健康な家庭の表彰のために……70万円。納税組合補助金……302万円。

歳入としては、保険税……1億2,916万円。国の補助……3億2,788万円などとなっております。

また、直診勘定として黒滝、中の川地区の人々を直接診察するための費用が101万円見込まれております。

特殊道路会計

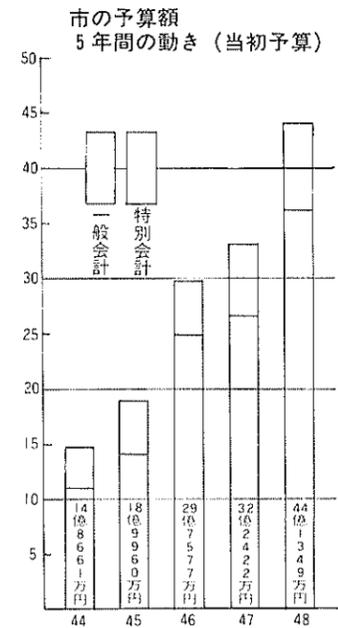
3,309万円

歳出のおもなものは、高知刑務所の移転にともなって市道八幡輪田線の改良工事を行なうために……1,960万円。前年度事業の不足をおぎなうために……1,199万円。歳入は県補助金……1,160万円。市債その他で……2,149万円。

土地開発公社

18億円

新しく4月1日に設立された南国市土地開発公社の事業予算で、市の必要とする公民館やグラウンド、都市計画用地などの公共用地を計画的に円滑に先行取得する事業を行うもので、18億円の範囲内で事業を進めてゆくことになりました。



こんなに使われる・あなたの税金、

48年度一般会計予算から

予算額36億2,220万円で、昨年にくらべて34.3%の伸びをみえています。このため、市民1人当りに使われる金は、84,926円となりました。入ってくる金は、国

県支出金、地方交付税、市債などが65.6%をしめ、市税のしめる割合は、15.6%。1人当り13,242円になっています。では、どんなに使われるかみてみましょう。

議会費 4,566万円 (1.26%)

議会を運営するために

議員の報酬など	2,854
視察・研修のために	327
議長の実費として	90
議長車の買い替えのために	150
その他、職員給料や議会を運営するために使われます。	

総務費 5億8,198万円 (16.07%)

市庁舎の建設などのために

部落連絡員の手当として	195
市長の実費として	250
市長車の買い替えのために	150
土地開発公社への出資金や	
利子補給などの補助	1,838
市庁舎の清掃などの委託	745
映画「南国市庁舎」の録音	60
指定金融機関の委託料	280
市庁舎繰延べ支払分や車庫	8,734
交通安全の施設などのため	917
公害の検査機など公害対策	108
税金の前納報償金として	300
納税組合への補助金に	440

民生費 15億8,509万円 (43.76%)

社会福祉の充実のために

国民年金の納付組織への報償	115
身体障害者のために	444
精神薄弱者のために	488
老人福祉のために	16,528
老人家庭への奉仕	132
老人クラブの育成補助	201
老人医療費の扶助	11,511
老人ホームの扶助	3,616
その他	1,068
地方改善事業として	56,228
前浜養魚施設	7,920
大湊浜深線工事	6,104
共同畜舎の浄化槽設置	1,025
野中児童館	4,625
駐車場の設置	4,400
公園の設置	8,000
その他	24,154
児童手当として	1,260
交通遺児手当として	240
ゼロ歳児の医療扶助	648
母子の福祉のために	329
里保育所改築のために	4,501
遊園地の整備のために	542
生活保護のために	44,820
生活扶助	14,649
医療扶助	28,691
その他	1,480
その他、いろいろの福祉事業をすすめるために使われます。	

衛生費 1億2,976万円 (3.58%)

健康なくらしのために

いろいろの検診のために	297
伝染病の対策として	204
結核を防ぐための検診	459
環境衛生のために	394

ゴミ収集を委託するため	2,400
香南清掃組合への負担金	1,500
し尿処理を委託するため	1,000
黒滝のし尿浸透槽工事	600
水道事業への繰出金	1,200
その他、環境衛生をよくし、健康で明るいくらしのために使われます。	

労働費 1億1,842万円 (3.27%)

失業者を助けるために

貸金や手当などのために	9,655
就職支度金として	50
道路工事の原材料として	700
その他、失業している人のための経費や日雇健康保険の事務をするために使われます。	

農林水産業費 9,725万円 (2.69%)

豊かな農業をつくるために

農業振興の補助や負担に	2,517
農道や水路をよくするため	913
米の生産調整のために	339
漁家への資金貸付け	200
海中のビニールをのぞくため	68
その他、畜産、林業などを振興したり、農業委員会のために使われます。	

商工費 1,893万円 (0.52%)

栄えある商工業のために

商工業者の天災融資利子補給や商工会などへの補助として	550
商工会への貸付金	400
観光協会へ補助など	72
その他、商工や観光をすすめるために使われます。	

土木費 2億0,769万円 (5.73%)

整った町をつくるために

県のやる道路事業の負担	1,255
道路を補修するために	1,429
道路の新設・改良のため	8,672
広域市町村圏の整備	5,000
飛行場の周辺整備	1,026
自転車・歩行者道路	2,250
その他	396
橋りょうを維持するため	113
橋りょうの新設・改良	251
日吉井など河川の改良	600
9月災害のかげくずれ対策	3,500
かけくずれの家屋補償	150
都市計画をするために	1,155
土地区画整理のために	604
住宅改修資金(同和地区)の貸し付け金として	500
その他、道路・橋・河川をよくしたり都市計画をすすめるために使われます。	

消防費 6,351万円 (1.75%)

市民のいのちと財産を守るために

無線機や消防庁舎の備品	540
消防団員の報酬など	378
防火水槽や消防屯所の建築	355
消防運搬車やホースの購入	116
防災の無線機など	25
その他、消防・救急や防災のために使われます。	

教育費 4億3,635万円 (12.05%)

正しくすすくと育つために

視聴覚ライブラリーのために	127
小学校の管理・教材備品	1,015
中学校の管理・教材備品	680
小中学校の就学援助費	314
遊々池中の二期工事費	14,618
北陵中のプール新設工事	1,474
高等学校のために	161
幼稚園のために	771
少年の教育をすすめるために	68
青年教育をすすめるために	187
成人式・成人教育のため	43
市美術展を開くために	91
家庭学級・婦人教育のため	94
高令者学級のために	150
文化財を保護するために	117
南国市史をつくるために	47
同和教育をすすめるため	3,606
同和教育のために	1,588
識字学級をすすめるため	26
集会所の運営のため	140
集会所の建築のため	1,852
中央公民館の運営のため	73
地区公民館の運営のため	323
大篠公民館の建築のため	3,183
部落公民館の活動補助に	120
体育協会への補助のため	140

公債費 1億9,252万円 (5.31%)

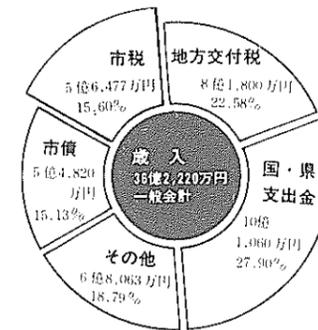
借入れ金を支払うために

元金を払うために	9,604
利子を払うために	9,620

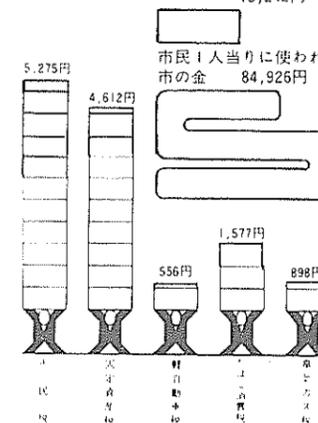
災害復旧費 1億2,689万円 (3.50%)

災害からたちなおるために

農林水産施設の災害復旧	6,805
-------------	-------



市民1人当りの税金 13,242円



市民1人当りの税金

坂口堰など7カ所	872
内方水路など15カ所	1,006
大坪湖農道など8カ所	751
黒土堰の災害復旧工事	1,605
内方堰の "	278
二の瀬堰の "	598
牛月堰の "	435
池の本堰 "	126
物部堰災害復旧の負担	196
農道中島線ほか22カ所	367
宇吉水路ほか41カ所	328
その他	243
公共土木施設災害復旧	5,883
道路の災害復旧	2,847
河川の災害復旧	2,756
その他	280

その他 1,815万円 (0.51%)

赤字をおぎなうため

前年度の赤字をおぎなうため	815
予備にとっておくため	1,000

スポーツ 傷害保険



10人以上の団体加入、1人100円

市の体育指導委員は次り入たち

区分	保険金額	保険料
第一種	五十万円	百円
第二種		
A 五十一口	五十万円	千三百円
B 五十万円	五十万円	八百七十五円
C 五十万円	五十万円	四百四十五円

体育、スポーツ活動で「ケガ」をしたときなどに支給される保険です。ことしから第一種で保険金が三十万円から五十万円に増額されました。この保険は団体加入で、十人以上で加入できます。保険料は第一種で一カ年百円です。スポーツや体育だけがされる人たちも少なくありません。市民のみならずの加入をおすすめします。くわしいことは、もよりの市体育指導委員、市民体育館までお問い合わせください。

保険金額と保険料(一人当り)

市体育指導委員は次り入たち

第二種 A 五十一口 五十万円 千三百円
B 五十万円 五十万円 八百七十五円
C 五十万円 五十万円 四百四十五円

市体育指導委員は次り入たち

第一種 五十万円 百円

第二種 A 五十一口 五十万円 千三百円
B 五十万円 五十万円 八百七十五円
C 五十万円 五十万円 四百四十五円

市体育指導委員は次り入たち

スポーツ、体育の相談にも応じていますので、お気軽にご相談ください。

こくち ・ばん



■ 正しく犬を飼いましょう

48年度春の狂犬病予防注射および登録を四月はじめにおこないましたが、まだ済んでいない犬はすぐに済ませるようにしましょう。注射は近くの獣医師で、登録は市役所(公害環境課)でおこなってください。また最近、野犬がふえて困っています。無責任に犬を捨てたり、放し飼いをするのはやめて、正しく飼ってください。市では、知らない犬を毎月第2月曜日午前9時30分～10時の間に市役所水道局前において引き取っています。必ず日時を守り、印鑑を持ってきてください。

■ 休日当番医

5月3日・岡豊病院(岡豊) 大津局088861-2345/5日・上村医院(黒改田) 5-8286、有線2991/6日・山本内科(後免) 4-2576/13日・吉本小児科(後免) 4-2465、有線4502/20日・山本医院 4-2545(後免) 有線4892/27日・谷医院(片山) 5-8335

モシモシ…… 農業の電話相談



市の農業委員会は農事電話相談所を開設。農業者からの電話相談を受けつけることにしました。

▼相談の内容
対象は市内の農業者。農地法や農地の売買、贈与、相続、転用、賃貸借など農地に関すること。

自作農資金その他農業制度金に關すること。
農業者年金に關すること。
市の一般農政に關すること。
ただし農協などの農業団体の所管業務や行政の範囲以外と認められる事項(例えば特定人の資産、税金、戸籍上のことなど)については回答できません。直ちに電話回答できないものは電話番号、連絡時間などを打ち合せのうえ、後で電話回答します。

▼電話相談日
毎週土曜日八時三十分から正午まで。

▼使用電話
南国三二二二一
内線三二二二一
南国三二二二一
内線三二二二一
南国三二二二一
内線三二二二一



子どもを守り育てよう

うちの子も、よその子も、同じ日本の子。未来の担い手として、すこやかな成長につとめよう。